

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】 / (分野)		授業形式						
M212W302		看護OSCE (Nursing Practice Objective Structured Clinical Examination)					統合分野								
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態							
必修	1	3	医学部看護学科	後期	他	日本語		複数(共同)							
担当教員	氏名 小野光美 他、看護学科全教員														
	E-mail mitsumi 内線 5091														
授業の概要	看護OSCE (Objective Structured Clinical Examination ; 客観的臨床能力試験) は、臨地実習に向けた基礎的な看護実践能力の修得を目指す。既修の知識と技術をもとに、対象や状況に応じた確実な看護実践 (ヘルスアセスメント、看護技術) に向け、主体的、能動的に学修に取り組み、客観的評価を受けることにより自己の課題を明らかにする。本科目は、看護を提供する場 (病院・施設・在宅・地域) におけるすべての健康レベルの人々を対象とする。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	
目標1	対象理解のためのヘルスアセスメントができ、得られた情報の意味をその場で判断できる							○	○	○					
目標2	対象の状況を捉え看護の方向性を説明できる							○	○	○					
目標3	原理原則を踏まえ、対象や状況に応じた看護を実践できる							○	○	○					
目標4	倫理的配慮のある関わりができる								○		○			○	
目標5	客観的評価を受け、自己の課題を明らかにすることができる										○		○	○	
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度 (計10)								1	4	4	1		1	1	
授業の内容															
1	10月1日	3・4・5限	事例・課題の提示 本科目の学修内容、学修の仕方 事例・課題の提示 講義												
2	10月1日	3・4・5限	事例の理解 対象の健康状態の理解、日常生活状況の理解と具体的なイメージ化 必要な知識の整理 ワーク (個人学習・グループ学習)												
3	10月1日	3・4・5限	事例の理解 対象の健康状態の理解、日常生活状況の理解と具体的なイメージ化 必要な知識の整理 ワーク (個人学習・グループ学習)												
4	10月22日	10月23日	2~4限	ヘルスアセスメント 適切なコミュニケーション 実技試験 (個人)											
5	〃			ヘルスアセスメント 対象の状況に合わせた正確な測定と観察・バイタルサイン測定・フィジカルイグザミネーション・ソーシャルサポート (フォー											
6	〃			ヘルスアセスメント アセスメントを含めた報告 実技試験 (個人)											
7	〃			看護の実践 実施する看護の方向性の明確化 実技試験 (個人)											
8	〃			看護の実践 対象や状況に応じた看護の実施 実技試験 (個人)											
9	〃			看護の実践 実施時の留意点の説明 実技試験 (個人)											
10	10月24日	1・2限	振り返り 一連の看護実践の振り返り 臨地実習に向けての課題の明確化 ワーク (個人学習・グループ学習)												
11	10月24日	1・2限	振り返り 一連の看護実践の振り返り 臨地実習に向けての課題の明確化 ワーク (個人学習・グループ学習)												
12															
13															
14															
15															
ラーニングゴール	A:知識の定着・確認		○A:時間外学修(予習、復習)、実技試験、振り返り		工 そ の 他 の	知識をベースにした事例の理解と技術の反復練習、客観的評価 (実技試験) と振り返り (ディスカッション、レポート) を組み合わせた授業展開とする									
	B:意見の表現・交換		○B:ディスカッション												
	C:応用志向		○C:ロールプレイ、シミュレーション、ケースメソッド												
	D:知識の活用・創造														
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		事前学習、実技試験の準備、バイタルサイン測定技術・フィジカルイグザミネーションの反復練習 (計11.5h)												
	事後学修		実施の振り返り、反復練習 (11h)												
	想定時間合計		23												
教科書	教科書は指定しない														
参考書	参考書は指定しない														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	実技試験（個人）		80%	○	○	○	○						
	学修記録（課題の明確化）		20%					○					
注意事項	4～9回はユニフォーム、ナースシューズを着用する。聴診器、時計(秒針付)、ペンライトは演習時持参する。												
備考													
リンク													
	URL												
担当教員の 実務経験の有無	○												
教員の実務 経験	保健師、助産師、看護師、医師												
実務経験を いかした教育内容	保健師、助産師、看護師、医師としての経験から看護実践に必要な知識・技術を抽出し、事例の作成、実技試験の内容・評価、学修プロセスの支援を行う。												